



配膳する学生たち＝静岡市駿河区の森下オハナ子ども食堂

静岡英和学院大の学生有志

子ども食堂運営支援

駿河区

静岡英和学院大(静岡市駿河区)の学生有志7人が15日、同区で活動する「森下オハナ子ども食堂」の運営にボランティア参加した。

「オハナ」は同区で飲食店を営む荻野裕利子さんが「孤食をなくし、手作りの食事を楽しんでもほしい」との思いで昨年からはじめ、夕方早めの時間帯に店を会場に無料で提供して

弁当の配布に切り替えたため、店内を開放したのは数カ月ぶり。食材は寄付金で購入したり、生産者の寄付を受けたりしている。

いる。開始直後には近所の子どもたちが連れ立って続々と訪れた。大学生が配膳を手伝い、食後には交流した。新型コロナウイルスの感染拡大時は手作りの